

令和3年度（第18回）

学生生活実態調査報告書

香川大学

まえがき

この度、令和3年度実施の香川大学学生生活実態調査報告書が完成いたしましたので、お届けします。本調査の目的は、1点目に、本学の学生がどのような条件のもとで、どのような意識をもって日々の生活を送っているのかといった学生生活の実態を把握すること、2点目に、大学に関する諸々の事象に対してどの程度の満足感を持ち、どのような変化を求めているのかといった大学へのニーズを把握することにあります。そのうえで、これらの調査結果を大学の学生生活に関する諸施策の基礎的資料として活用することとしています。

本調査は、1986年（昭和61年）の第1回以来、今回で18回目となりました。第11回調査より、手軽に回答でき、かつ迅速に集計できることから、Webにて調査を行っています。今回の調査は、1年生が大学生活に慣れてきた時期を見計らい、前期期間中の令和3年7月1日から8月7日にかけて実施し、在学生の約11%に当たる600名余りの学部学生から回答を得ることができました。

今回の質問項目は、経済状況などの基本的事項に関するものを19問、学業や課外活動などのキャンパスライフに関するものを43問とし、多岐にわたる項目を設定しました。また、昨今の感染症拡大の状況を鑑みて、自由記述の設問を1問増やし、学生が求める支援に特化して、より自由に回答できる項目を作成しました。これに伴い、調査方法において、回答時間の制限（20分間）にとらわれることのないよう、時間制限を撤廃しました。その他、前回調査までは、所属学部別・性別に各調査結果のグラフを作成していましたが、今回よりダイバーシティの観点から、所属学部別・入学年度別に変更いたしました。さらに、一部の項目においては、設問同士をかけ合わせたクロス集計を行い、傾向の細分化を図りました。今後も時代の変化に柔軟に対応しつつ、調査結果が学生生活全体の実態把握につながるよう工夫を重ねていきたいと思っております。

詳細は各調査項目にて後述しますが、本調査の結果から学生の実情や、多様な希望・要求を把握することができ、大学として学生の皆さんの学生生活を充実させるためにはどのような支援が必要なのか、どのような施設・制度が不足しているのか、どこを改善していけばよいのか等を検証するための重要な役割を果たしています。これまでも、本調査で得られた回答を契機に、学生短期貸付金制度の創設やキャンパス間シャトルバスの運行などが行われ、学生生活支援の改善がなされています。学生の皆さんには、今回も積極的な回答への協力に、感謝の意を表すとともに、今後とも学生の皆さんによる現状に対する率直な意見や提案を期待しております。

香川大学は「地域に根ざした学生中心の大学」を謳っています。これからも学生生活の充実に寄与することを目途としてさらなる学生支援に努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、本報告書の作成にご尽力いただいた学生支援センター会議委員の方々及び関係する教職員の方々に厚くお礼を申し上げます。

令和4年3月

副学長（学生支援・広報・特命担当）
山 神 眞 一

令和3年度学生支援センター会議委員

センター長	山神眞一
副センター長	平野美紀
バリアフリー支援室長	坂井聡
センター主担当教員	大沼泰枝
教育学部	片岡元子
教育学部	松本一範
法学部	春日川路子
法学部	林田光弘
経済学部	松岡久美
経済学部	山ノ内健太
医学部	塩田敦子
医学部	中野大介
創造工学部	梶谷義雄
創造工学部	玉置哲也
農学部	一見和彦
農学部	五味劍二
地域マネジメント研究科	島根哲哉
保健管理センター	大塚美菜子
教育・学生支援部	高嶋実

目 次

第1章 香川大学学生生活実態調査について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施期間	1
(3) 調査の内容及び項目	1
(4) 調査の対象と方法	2
(5) 集計と報告書の作成	2

第2章 調査結果の概要について

I. 基本的事項について

1. 属性	3
2. 通学方法	6
3. 経済状況	1 2
(1) 住居の形態	1 2
(2) 住居を選んだ理由	1 3
(3) 部屋の間取り	1 5
(4) 1ヶ月の仕送り額	1 6
(5) 1ヶ月の支出額	1 7
(6) 1ヶ月の住居費	1 8
(7) 1ヶ月の食費	1 9
(8) 1ヶ月の奨学金	2 0
(9) 過去1年間のアルバイト経験	2 1
(10) 1ヶ月のアルバイト収入	2 2
(11) アルバイトの主な職種	2 3
(12) アルバイト収入の主な使途	2 4

II. キャンパスライフについて

1. 学 業	2 5
(1) 学部・学科の満足度	2 5
(2) 1日の勉強時間	2 6
(3) 授業以外の取組	2 7
(4) アルバイトに費やす時間	2 9
(5) アルバイトと学業の関係	3 0
(6) 教員との交流	3 1
(7) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応	3 2
(8) バリアフリー支援室	3 3

2. 課外活動	3 4
(1) サークルへの加入	3 4
(2) サークル加入の動機	3 5
(3) サークルの感想	3 6
(4) 学業との両立	3 7
(5) サークルに加入しない理由	3 8
3. 職業選択	4 0
(1) 卒業後の進路	4 0
(2) 選ぶ基準	4 1
(3) 希望する分野	4 2
(4) 職業選定で重視すること	4 3
(5) 就職希望地域	4 4
(6) 就職活動で不安なこと	4 6
(7) 就職に関する大学への要望	4 7
4. 新型コロナウイルスの影響について	4 8
(1) 自粛期間中の生活について	4 8
(2) 外出頻度について	4 9
(3) 同級生とのコミュニケーション	5 0
(4) アルバイトへの影響	5 2
(5) 仕送りへの影響	5 4
(6) 実家の収入への影響	5 6
(7) 新型コロナウイルスの影響で困っていること	5 7
(8) 金銭面で困った場合の対処	5 8
(9) サークルや課外活動への影響	5 9
(10) 大学の対応について（自由記述）	6 0
5. 健康	6 5
(1) 保健管理センターの利用について	6 6
(2) 身体の具合が悪くなってきたときの対処方法	6 7
(3) 飲酒について	6 8
(4) 喫煙について	6 9
(5) 1日の睡眠時間について	7 0
(6) 1日の食事の回数について	7 1
(7) 精神的ストレス	7 2
(8) ストレスの原因	7 3
(9) 悩みの対処方法	7 4
(10) 学内の友人関係	7 6

第3章 自由記述への回答について	7 7
-------------------------	------------